

令和8年6月1日

全体朝礼 挨拶 (人生をデザインする)

皆さん、改めまして、おはようございます。また、先の表彰式であった高校総体県予選には、多くの大会出場が他にもあり、3年生を中心に今まで頑張ってきたことと思います。皆さん、ご苦労様でした。3年生は、これからも最後の選手権大会に向け、引き続き努力する者や、進路実現に向けて学習等に力点をシフトする者、また時間をマネジメントして両立しようと考えている生徒もいようかと思えます。我々職員は、生徒の伴走者として今からもアシストしていきたいと思っています。

さて、そんな皆さんの人生物語でいうところの主人公、メインとなる皆さんに、これからハッピーエンドに近づく過ごし方・考え方の習慣について、アドバイスをしたいと思えます。今からの話は、私がインテリア科の教員をしていた頃にも話していたことですが、皆さん、「デザインする」と言えば、どの様なことかは想像できると思えます。多くの事を思い描いて、頭の中で皆さんなりのデザインを今、想像してみてください。

皆さん、デザインできましたか。

人それぞれに違ったデザインが、できあがったかと思えますが、そのデザインは紙の上などの2次元だったでしょうか。それとも立体の3次元だったでしょうか。もっと言えば3次元の想像物が、時間の経過と共に成長した「将来の姿」、4次元のデザインだったでしょうか。

ひとえにデザインすると言っても様々なデザインがあります。

こちらのスクリーンに在る写真は、京都議定書から国家課題として温暖化対策を強く意識し始める3年前1995年に建築され、今から11年前の2015年CNN.com「世界で最も美しい10のスカイガーデン」として選ばれた、福岡市天神にあるアクロス福岡「ステップガーデン」の2017年の写真です。

その当時、木々が生長した森のビルは、このとおりの写真ですが、完成時の20年前は、まだこの様な状態でした。

もちろん植栽や建築計画は、数年後のこの状態をイメージして、計画・施工・管理されていくモノです。

さて、話は元に戻りますが、皆さんの人生物語の主人公である皆さんは、どの様な10年後をイメージできていますか。建物で言うところの完成から、逆算をして計画・施工・管理を行うことで、夢実現の可能性が高まります。(ただし注意点として、その前段階でイメージするための知識・技術・思考・判断を身に付けることは重要です。)

本日は、このことを踏まえた上でぜひ皆さんには、時間の経過を加えた4次元で物事を考えて「人生をデザインする」習慣が身に付くことを期待して、全体朝礼の挨拶といたします。